

学年 国際経営学部三年
氏名 HU BEIBEI (コ ベイベイ)
インターン先: 株式会社ユニベイト (2025.08/日本東京都)

1. インターンシップ先の概要

株式会社ユニベイトは、東京都に本社を置く越境 EC 企業であり、中国大手 EC 企業・京東集団 (JD.com) の日本における主要パートナー企業です。日本ブランドの中国市場進出や、海外商品の日本市場展開を中心に、サプライチェーン管理、商品企画、価格戦略、プラットフォーム運営など幅広い業務を展開しています。京東 (JD Global) の協力パートナーとして、データドリブンな分析を通じてブランドの成長を支援し、日中間の EC ビジネスにおける架け橋として重要な役割を果たしています。

2. インターンシップ先の活動内容

インターンシップ期間中、私は京東国際購 (JD Global) 部門に所属し、越境 EC の運営とデータ分析業務に携わりました。JD Global は、中国 EC 市場でアリババに次ぐ第 2 位のシェアを誇る京東集団のグローバル事業部であり、ユニベイトはその日本における戦略的パートナーとして重要な役割を担っています。

業務の初期段階では、部署ごとにデータの集計基準が微妙に異なり、同じ数値でも解釈がずれることに気づきました。そのため、私は CTR (クリック率) や CVR (転換率)、在庫や価格の変動履歴を一枚にまとめた週次レポートのテンプレートを作成し、チーム全体の共通認識を整える仕組みを提案しました。

セール準備では、SKU 候補の選定、価格・在庫の確認を担当し、競合であるアリババや Amazon のギフトセットを分析しました。商品の見せ方やコピー表現を比較し、自社ブランドの文脈に合わせて調整を行いました。また、レビューや問い合わせで多く寄せられる質問を商品ページや Q&A に即時反映し、ユーザー体験の改善にも努めました。

わずかな変更でも翌日の CTR や CVR に明確な変化が表れることから、越境 EC の現場はスピードと正確性の両立が求められることを実感しました。データを言語とし、ユーザー体験を軸に日々改善を重ねる運営の奥深さを体得できたことは、大きな学びとなりました。

3. インターンシップに参加して得た学び

今回の実習で得た最大の学びは、「現場の感覚」と「再現できる仕組み」を自分の中に築けたことです。私は、データ分析の数値と顧客の“生の声”を同じ重さで捉え、定量と定性の両面から意思決定を行う

姿勢を身につけました。また、完璧な結果を待つよりも、小さく実行しながら改善を重ねる方が、より安定した成果につながることを体感しました。

さらに、選品・価格・在庫・クーポン・物流といった複数要素を同じ時間軸で把握し、部門間の情報を途切れさせない段取りの重要性も学びました。越境 EC のように変化の速い環境では、課題を素早く言語化し、その場で修正するテンポが成果を左右します。こうした経験を通じて、私は「改善を仕組みに変える力」を身につけることができました。

4. 他のプログラム参加者に共有したいこと、周りの学生へのメッセージ

インターンシップは“観察する場”ではなく、“自ら課題を発見し、改善を試みる場”です。特に越境 EC の現場ではスピード感が求められますが、焦らず自分なりの判断基準と仕組みを構築することが大切だと感じました。

数字を正確に扱い、ユーザーの声を真摯に受け止め、そしてチーム全体の流れを意識することで、どんな環境でも確かな成果を出せるようになります。成果を急ぐよりも、“仕組みをつくる”ことを意識すれば、結果は自然とついてくる——それがユニベイトでの経験を通して私が伝えたい一番のメッセージです。

ワークデスク

